



山梨県立 甲府昭和高等学校



所在地 〒409-3866 中巨摩郡昭和町西条3000番地
 電話 055-275-6177～9
 F A X 055-275-2594
 U R L <http://www.syowah.kai.ed.jp/>
 E-mail webmaster@syowah.kai.ed.jp
 創 立 昭和59年4月3日
 課 程 全日制
 利用交通機関 山梨交通バス NTT 新甲府ビル下車 徒歩10分
 山梨交通ハイスクールライナーバス
 アルプス通り甲府昭和高校入口下車 徒歩10分
 JR 身延線 国母駅下車 徒歩20分 自転車7分
 教員数 47名
 生徒数 711名

学科名	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	104	130	91	149	103	134

甲府昭和高校は、勉強に、部活動に、情熱を傾ける生徒を応援しています。

校訓 自主創造

（「自主性」とは、自分で考え、自分で判断し、自分の意志と努力で自分の行動に責任をもって生きていくこと。「創造性」とは、新しいものを創りだしていく精神、自己の良いところを発見し、理解を深め、自己実現に努めて自らを創造すること。）

教育目標

真理を愛し、たくましく、心豊かな人間に育成する。

指導重点

新たな時代を担う生徒たちに必要な資質・能力を培う教育を推進するため、「甲府昭和高校Can-doリスト」により、3年間で育てるべき資質・能力を明確化し、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指して次のことに取り組みます。

①身につけさせたい資質・能力の育成

本校生徒に身につけさせたい資質・能力を明確にした上で、一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな学習指導を実践していきます。さらに学習意欲を高める指導・評価の工夫のほか、授業と家庭学習の有効な接続、総合

的な探究の時間を中心とした探究的な学習活動の充実を目標に、生涯にわたって学習の礎となる智の獲得をめざします。

②さわやか教育

本校では創立以来、さわやか教育（さわやかな行動、さわやかな環境づくり、さわやかな挨拶、さわやかな服装）を推進しており、規律ある学校づくりとボランティア活動への主体的な参加に努めています。

③安全で安心な教育環境

交通安全教育と教育相談体制の充実を柱に、各種連携事業を通して、地域に貢献する教育を推進していきます。

学習の流れ

1年次は、基礎学力の充実をめざした学習を進めます。文系、理系のどちらにも対応できる高習熟度クラスとして「文理習熟クラス」を2クラス設置しています。

2年次は、個々の適性や関心に応じて、文系、理系それぞれのコースに分かれて学習を深めます。

3年次は、生徒一人ひとりが個々の進路希望に応じた学習を深め、自己実現を図ります。

2・3年次の文系では「文系習熟クラス」を、理系では「スーパー理数クラス」を、それぞれ高習熟度クラスとして1クラスずつ設置し、発展的な学習を行っていきます。

	共通科目	選択科目
文系 理系	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究・歴史総合・地理総合・公共・数学Ⅱ・数学A・科学と人間生活・化学基礎・化学・生物基礎・体育・保健・英語コミュニケーションⅠⅡⅢ・論理表現ⅠⅡⅢ・家庭基礎・情報Ⅰ	国語表現・国語探究・日本史探究・世界史探究・地理探究・世界史研究・日本史研究・倫理・政治経済・数学B・数学Ⅲ・数学探究AB・物理基礎・物理・生物基礎・生物・自然科学探究ABC・スポーツ研究・音楽ⅠⅡ・美術ⅠⅡ・書道ⅠⅡ・芸術探究・英語探究・ソルフェージュ・素描・フードデザイン・ライフデザイン・保育基礎
スーパー理数 2年次以降	論理国語・古典探究・地理総合・数学Ⅱ・数学B・化学基礎・化学・体育・保健・英語コミュニケーションⅡⅢ・論理表現ⅡⅢ	地理探究・政治経済・数学Ⅲ・数学C・数学探究ABC・物理基礎・物理・生物基礎・生物

※ 令和4年度入学生のカリキュラム（予定）

一人ひとりの可能性を伸ばす学習機会

年8回程度「土曜講座」を実施し、進路実現に必要な学力を養成します。

夏休み前に放課後学習会（1・2年）を実施し、休業中の学習習慣の定着を図ります。

夏休みには夏期課外（1～3年）を実施し、休業中の学習を支援します。

年度末には外部講師による春期課外（1・2年）を実施し、大学受験に向けた実践的な学力を養成します。

推薦入試などに対応するため、小論文指導・面接指導を、個別に、計画的に、きめ細かく行います。

将来を見通す総合的な探究の時間

外部講師の講話による、自己理解や社会との関わりを深める活動、熟議による進路をテーマにした探究活動を通して、自己の在り方や生き方を考えることができるようになることを目指します。社会的課題や学術的課題、興味のあることを探究して、将来を担う生徒を育成する時間として、探究活動を実践し、体系的なキャリア教育を行います。

自主的な学習を応援する環境

生徒への学習支援を進めるため、オリジナル手帳「未来へ」と、学習支援システム「Classi」を併用しています。

進路実現に向けて、日々の学習計画や取り組み状況を振り返ったり、資格取得や部活動等の実績を3年間にわたって記載、入力したりして、新大学入試に対応できる環境の整備を推し進めています。

また、職員室前には、生徒の疑問に答える「質問コーナー」が整備され、昼休みや放課後には、多くの生徒が熱心に教師に質問をしています。

活発な部活動

各部とも高い目標をもって積極的な活動を展開しています。体育局では、多くの選手が県代表として関東大会や全国大会に出場しています。また文化局も、各種大会・コンクールで上位入賞を果たしています。

学習との両立を図るため、各部が策定した「部活動の活動方針」に基づき、計画的な活動を行っています。

体育局

野球部、サッカー部、バスケットボール部（男女）、陸上競技部、ソフトテニス部（男女）、テニス部（男女）、バレーボール部（男女）、卓球部、剣道部、ボクシング部、弓道部、水泳部、山岳部、ソフトボール部、なぎなた部、バドミントン部

文化局

吹奏楽部、写真部、パソコン部、箏曲部、美術部、文学部、放送部、将棋部、演劇部、書道部、茶道部、華道部、家庭料理部、ESS、ダンス部

部活動の実績（令和2年度）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、夏季までの全国大会（インターハイ等）はすべて中止となりました。秋以降の大会で優秀な成績を収めた部は、以下の通りです。

- 関東大会出場 ボクシング部、陸上競技部
- 東日本大会出場権獲得

女子ソフトボール部

その他、なぎなた部や女子ソフトテニス部など、上位大会が行われていれば、その出場権を獲得した部があります。



<令和2年度卒業生の大学等合格・進学状況>

○国公立大学（進学43名）

埼玉大学・山梨大学(9)・静岡大学・横浜市立大学・都留文科大学(6)・山梨県立大学(16)・公立諏訪東京理科大学(3)・長野県看護大学・静岡県立大学(4)・福井県立大学

○私立大学（進学122名）

青山学院大・桜美林大・学習院大・神奈川工科大・神奈川大・鎌倉女子大・共立女子大・杏林大・健康科学大・工学院大・国学院大・国際医療福祉大・国士舘大・駒沢大・埼玉医科大・埼玉工業大・実践女子大・芝浦工業大・順天堂大・昭和音楽大・昭和女子大・湘南工科大・成城大・専修大・大正大・拓殖大・玉川大・千葉工業大・中央大・帝京科学大・帝京大・帝京平成大・東海大・東京医療学院大・東京経済大・東京工科大・東京国際大・東京農業大・東京薬科大・東洋大・独協大・日本医療科学大・日本工業大・日本大・日本体育大学・日本福祉大学・文京学院大・文化学園大・法政大・松本大・明治大・明治学院大・名城大・明星大・目白大・山梨英和大・山梨学院大・立教大・麻布大

○短期大学・専門学校（進学46名）

【短期大学】国公立短大1名

私立短大13名

【専門学校】35名（内 看護系16名）

